



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月30日

上場会社名 東洋テック株式会社

上場取引所 東

コード番号 9686

URL <https://www.toyo-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 博之

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長

(氏名) 入浦 直仁 (TEL) 06-6563-2111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	24,954	7.7	573	△13.1	608	△15.0	431	14.3
2024年3月期第3四半期	23,165	7.0	659	34.2	715	18.4	377	△28.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 431百万円(△14.6%) 2024年3月期第3四半期 505百万円(△9.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	41.84	—
2024年3月期第3四半期	36.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	39,204	21,433	54.7
2024年3月期	35,772	21,312	59.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 21,433百万円 2024年3月期 21,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	10.4	1,350	39.7	1,400	31.6	840	34.1	81.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 4社(社名) アムス・セキュリティサービ
ス株式会社(大阪市)他、除外 2社(社名) アムス・セキュリティサービ
ス株式会社(大阪市)他

(注) 詳細は、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記
事項(連結範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	11,440,000株	2024年3月期	11,440,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,094,951株	2024年3月期	1,154,016株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	10,314,399株	2024年3月期3Q	10,263,206株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(連結範囲の変更に関する注記)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

東洋テック、関連会社ともに売上は堅調に推移しました。一方で、今年度実施したM&Aにかかる費用負担により、利益面は厳しい結果となりました。連結子会社であったアムス・セキュリティサービス株式会社（大阪市）及びアムス・シークレットサービス株式会社を吸収合併したことで、効率運営体制構築、収益性の改善に取り組んでまいります。なお、純利益については、投資有価証券売却益の計上により、増益となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間において、売上高は24,954百万円（前年同四半期比1,789百万円の増収）、営業利益573百万円（前年同四半期比86百万円の減益）、経常利益608百万円（前年同四半期比107百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益431百万円（前年同四半期比53百万円の増益）となりました。

事業セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業におきましては、値上げの継続的な取り組みやM&Aの寄与もあり売上は堅調に推移しましたが、M&Aや連結子会社の吸収合併に係る一時費用、処遇改善等による諸費用が増加しました。

その結果、警備事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、17,250百万円（前年同四半期比1,802百万円、11.7%の増収）、セグメント利益は247百万円（前年同四半期比267百万円の減益）となりました。

(ビル管理事業)

ビル管理事業におきましては、工事受注が前年比減少したほか、既存先に対する値上げ交渉に取り組んだ結果、不採算先については契約解除となりました。一方で、管理業務の新規受注や外注の内製化に取り組んだ結果、収益性は改善傾向にあります。

その結果、ビル管理事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、7,055百万円（前年同四半期比△312百万円、4.2%の減収）、セグメント利益は130百万円（前年同四半期比35百万円の増益）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、仲介販売部門において前年度からの期ずれが発生していた案件2件のうち1件が完了しました。また、賃貸部門で前期新規に取得した物件の収益が寄与しました。

その結果、不動産事業の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高は除く。）は、649百万円（前年同四半期比299百万円、85.3%の増収）、セグメント利益は206百万円（前年同四半期比166百万円の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、16,697百万円となり、前連結会計年度末に比べ582百万円増加しました。その主な要因は、ATM管理業務に係る受託現預金が205百万円、販売用不動産が180百万円減少しましたが、一方で現金及び預金が500百万円、その他流動資産（仮払金等）が362百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、22,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,849百万円増加しました。その主な要因は、有形固定資産が214百万円（うち建物及び構築物が44百万円、機械装置及び運搬具が66百万円）、無形固定資産が2,562百万円（うちのれんが2,665百万円）、投資その他の資産が72百万円（うち投資有価証券が21百万円）それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、9,614百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,332百万円増加しました。その主な要因は、買掛金が153百万円、預り金が146百万円それぞれ減少しましたが、一方で短期借入金が2,215百万円、1年内返済予定の長期借入金が183百万円、その他流動負債が482百万円それぞれ増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、8,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ978百万円増加しました。その主な要因は、社債が500百万円、長期借入金が367百万円、繰延税金負債が72百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、21,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ121百万円増加しました。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の59.6%から4.9ポイント減の54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月9日の「2024年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,927,333	6,428,169
受託現預金	4,966,422	4,760,667
受取手形、売掛金及び契約資産	3,117,026	3,178,614
商品	8,304	3,090
貯蔵品	390,363	440,572
販売用不動産	1,080,474	900,474
その他	627,097	989,281
貸倒引当金	△2,237	△3,155
流動資産合計	16,114,784	16,697,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,739,354	4,783,956
機械装置及び運搬具（純額）	2,288,914	2,354,984
土地	6,274,673	6,306,257
建設仮勘定	50,591	103,735
その他（純額）	633,491	652,835
有形固定資産合計	13,987,025	14,201,770
無形固定資産		
ソフトウェア	321,661	239,370
のれん	493,863	3,159,256
その他	328,703	307,617
無形固定資産合計	1,144,228	3,706,244
投資その他の資産		
投資有価証券	2,993,595	3,015,345
繰延税金資産	189,667	160,490
退職給付に係る資産	501,400	524,799
その他	856,867	912,827
貸倒引当金	△15,460	△14,902
投資その他の資産合計	4,526,069	4,598,559
固定資産合計	19,657,323	22,506,573
資産合計	35,772,107	39,204,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	395,007	241,350
短期借入金	545,000	2,760,000
1年内返済予定の長期借入金	415,848	599,184
リース債務	55,428	54,750
未払法人税等	258,483	212,579
契約負債	319,231	382,828
預り金	2,146,860	2,000,478
賞与引当金	580,040	316,711
役員賞与引当金	28,740	26,328
その他	2,537,343	3,020,015
流動負債合計	7,281,983	9,614,226
固定負債		
社債	1,000,000	1,500,000
長期借入金	4,151,598	4,518,764
リース債務	379,651	338,464
長期契約負債	217,958	239,949
繰延税金負債	226,942	299,916
株式給付引当金	35,766	61,902
退職給付に係る負債	722,041	743,731
その他	444,110	454,122
固定負債合計	7,178,069	8,156,851
負債合計	14,460,053	17,771,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,618,000	4,618,000
資本剰余金	8,671,617	8,683,109
利益剰余金	9,223,488	9,249,301
自己株式	△1,124,079	△1,040,508
株主資本合計	21,389,025	21,509,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,248,769	1,249,921
土地再評価差額金	△1,362,016	△1,362,016
退職給付に係る調整累計額	36,275	35,401
その他の包括利益累計額合計	△76,971	△76,693
純資産合計	21,312,054	21,433,209
負債純資産合計	35,772,107	39,204,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	23,165,261	24,954,985
売上原価	18,740,765	19,978,497
売上総利益	4,424,496	4,976,487
販売費及び一般管理費	3,764,858	4,403,095
営業利益	659,637	573,391
営業外収益		
受取利息	121	709
受取配当金	68,698	81,316
その他	32,375	33,346
営業外収益合計	101,195	115,372
営業外費用		
支払利息	31,887	47,311
その他	13,282	32,963
営業外費用合計	45,169	80,274
経常利益	715,663	608,489
特別利益		
投資有価証券売却益	9,293	330,834
特別利益合計	9,293	330,834
特別損失		
固定資産除却損	60,119	43,129
和解金	2,500	-
事務所移転費用	21,019	-
訴訟関連損失	-	12,248
特別損失合計	83,638	55,377
税金等調整前四半期純利益	641,318	883,946
法人税、住民税及び事業税	156,507	325,702
法人税等調整額	107,010	126,590
法人税等合計	263,518	452,293
四半期純利益	377,800	431,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	377,800	431,653

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	377,800	431,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121,415	1,151
退職給付に係る調整額	6,662	△873
その他の包括利益合計	128,078	278
四半期包括利益	505,879	431,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	505,879	431,931
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,447,309	7,367,392	350,560	23,165,261	—	23,165,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,380	673,261	—	737,642	△737,642	—
計	15,511,689	8,040,653	350,560	23,902,904	△737,642	23,165,261
セグメント利益	514,827	94,990	39,546	649,365	10,271	659,637

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	警備事業	ビル管理事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,250,229	7,055,188	649,567	24,954,985	—	24,954,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,415	545,320	12,600	617,335	△617,335	—
計	17,309,644	7,600,508	662,167	25,572,320	△617,335	24,954,985
セグメント利益	247,719	130,671	206,114	584,505	△11,113	573,391

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間の取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、アムス・セキュリティサービス株式会社(大阪市)、アムス・セキュリティサービス株式会社(京都府福知山市)、アムス・シークレットサービス株式会社及び関西ユナイテッドプロテクション株式会社の発行済株式の全部を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。これにより、警備事業セグメントにおいて、のれんの増加額は2,866,634千円となりました。なお、アムス・セキュリティサービス株式会社(大阪市)及びアムス・シークレットサービス株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	841,538千円	889,444千円
のれんの償却額	59,504千円	201,241千円

(連結範囲の変更に関する注記)

第1四半期連結会計期間において、アムス・セキュリティサービス株式会社(大阪市)、アムス・セキュリティサービス株式会社(京都府福知山市)、アムス・シークレットサービス株式会社及び関西ユナイテッドプロテクション株式会社の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めておりましたが、当第3四半期連結会計期間において、2024年10月1日付で当社を存続会社とし、アムス・セキュリティサービス株式会社(大阪市)及びアムス・シークレットサービス株式会社をそれぞれ消滅会社とする吸収合併をしたため、連結の範囲から除外しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

連結子会社の吸収合併

(1) 企業結合の概要

① 被結合企業の名称及びその事業の概要

被結合企業の名称	アムス・セキュリティサービス株式会社 (大阪市)
	アムス・シークレットサービス株式会社

事業の概要	警備業
-------	-----

② 企業結合の日程

取締役会決議日 2024年7月29日

合併契約締結日 2024年7月29日

合併効力発生日 2024年10月1日

③ 企業結合の法的形式

当社を存続会社、アムス・セキュリティサービス株式会社 (大阪市) 及びアムス・シークレットサービス株式会社を消滅会社とする吸収合併方式

④ 結合後企業の名称

東洋テック株式会社

⑤ その他取引の概要に関する事項

当社は、2024年5月1日付でアムス・セキュリティサービス株式会社 (大阪市)、アムス・セキュリティサービス株式会社 (京都府福知山市)、アムス・シークレットサービス株式会社及び関西ユナイテッドプロテクション株式会社4社の全株式を取得し完全子会社といたしました。当社グループ内の事業運営の一元化による経営効率の向上と、大阪・関西万博に向けた人的資本の有効活用を図るため、当社を存続会社、アムス・セキュリティサービス株式会社 (大阪市) 及びアムス・シークレットサービス株式会社の2社を消滅会社とする吸収合併をすることといたしました。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。